

# BBLウェビナー プレゼンテーション資料

2020年10月12日

「**ICEFとTCFDサミット2020を振り返って—  
今後の気候変動の動きについて**」

水野 弘道(経済産業省参与)

# TCFDサミット2020 開催のねらい

- 昨年10月、世界初の「TCFDサミット」を東京で開催し、この場で、「グリーン投資ガイダンス」を公表。
- 世界的な経営者や投資家が集まり、気候変動対策に関して、「ダイベストメントからエンゲージメントへ」、「リスクのみならず機会の評価が重要」「TCFDの重要な議論・学びの機会のためのプラットフォーム・推進力の提供」などの基本コンセプトを合意。
- 2019年のTCFDサミット開始時は、世界で863機関、日本は198機関が賛同していたが、2020年9月25日時点で、世界1,433機関（+570）、日本306（+108）機関に拡大。日本の賛同者数は世界最大。
- TCFD開示に関しては、引き続き、企業経営者によるコミットメントを増やして賛同数を増やすとともに、世界の投資家の投融資の判断に活用可能となるような質の向上を図ることが重要。
- 今年のTCFDサミットは、コロナ渦の中オンライン開催となるが、世界を代表する投資家と経営者による更なるコミットメントを表明いただくとともに、実践段階となったTCFDを実務に定着させていくことを目的として、実務家によるセッションも開催する。
- この会合を通じて、トップレベルでの気候変動分野へのコミットメントを確認するとともに、TCFDの実務でのノウハウを共有して、日本から世界に対して、TCFD賛同の拡大に向けた取組を発信する。

# TCFDサミット2020

「ポスト・コロナ」、「ウイズ・コロナ」と呼ばれる状況にあって、経済と社会の復興に向けた動きが顕著になりつつある。また、世界的にTCFD提言に基づく気候関連財務情報の開示も着実に進展している。今般、情報開示ならびに活用に関する知見を共有するとともに、TCFD提言の実践上の課題や今後のアクション等を議論するべく、オンライン配信によりTCFDサミット2020を開催。

日時：10月9日（金）

場所：オンライン配信（YouTube metichannelで事後も配信中）

主催：経済産業省

共催：TCFDコンソーシアム、WBCSD

メッセージ

実務家セッション

13:00-13:10 (10分)	<b>Welcome Message</b>	菅総理大臣 梶山経産大臣
13:10-13:20 (10分)	<b>Opening Remarks</b>	国際的なTCFD関係者 Valdis Dombrovskis (EU委員会副委員長) Mark Carney (国連気候アクション・ファイナンス特使)、Mary Schapiro (Adviser, TCFD Secretariat)、
13:20-14:00 (40分)	<b>Opening Session</b>	TCFDサミットへの期待： Peter Bakker (President & CEO, WBCSD)、伊藤邦雄 (TCFDコンソーシアム会長) 他
14:10-15:10 (60分)	<b>Special Discussion</b>	ウイズ・コロナ / アフター・コロナ時代のESG投資とTCFD開示の意義 Fiona Reynolds (CEO, PRI) 他
15:20-16:20 (60分)	<b>Panel Discussion 1</b>	業種別のマテリアリティを踏まえた評価の重要性
16:30-17:30 (60分)	<b>Panel Discussion 2</b>	シナリオ分析の実践と事例紹介
17:40-18:50 (10分)	<b>Keynote Speech</b>	経済産業省 クライメート・イノベーション・ファイナンス戦略2020
17:50-18:30 (40分)	<b>Panel Discussion 3</b>	トランジション・革新的環境イノベーションへの資金供給の促進とTCFD開示の活用
18:35-18:45 (10分)	<b>Closing Remarks</b>	水野弘道 TCFDサミットアンバサダー

# Opening Remarks

## Message

- TCFDのフレームワークを活用するために、開示の経験の蓄積、共有が重要。そのためにもTCFDサミット（さらに一連の環境会議）を日本で定期的を開催し、集中的に知見を交換することには意義がある。
- 開示を通じたオポチュニティ評価が事業者と金融機関の対話につながるよう、日本のリーダーシップに期待。
- 投資家はグリーンへの投資にとどまらず、イノベーション、トランジション技術の開発、実装に熱心な企業を中長期的視点をもって評価することで、世界規模で低炭素化に向けた投資が拡大し、パリ協定の目標実現につながる。

## Speakers



### ■ Valdis Dombrovskis

Executive Vice-President, European Commission



### ■ Mark Carney

Finance Adviser to the Prime Minister of the United Kingdom for COP26,  
UN Special Envoy for Climate Action and Finance



### ■ Mary Schapiro

Head Of The TCFD Secretariat, Vice Chair For Global Public Policy,  
Senior Adviser To The Founder, Bloomberg

# Opening Session 「TCFDサミットへの期待」

## Objective

- 議論のシーン・セッティングとして、前回サミット開催以降の、産業界・金融界の取組の進捗や成果の発表、コミットメントの表明を行うとともに、2021年11月に開催されるCOP26に向けてTCFD提言実施のモメンタムを維持・増進する。
- TCFD勧告への対応を促進し、投資家の意思決定に利用可能な形での事業会社の気候変動関連の情報開示を勧める。

## Speakers

- Peter Bakker, President & CEO, WBCSD
- 伊藤 邦雄 TCFDコンソーシアム会長、一橋大学CFO教育研究センター長
- 宮園 雅敬 年金積立金管理運用独立行政法人（GPIF） 理事長
- Laurence Fink, Chairman and Chief Executive Officer, BlackRock
- Ronald P. O’Hanley, Chairman and Chief Executive Officer, State Street
- 杉森 務 日本経済団体連合会 副会長、ENEOSホールディングス会長
- 三毛 兼承 全国銀行協会 会長、三菱UFJ銀行 取締役頭取執行役員
- 根岸 秋男 生保協会 会長、明治安田生命保険 取締役 代表執行役社長
- 宮原 幸一郎 東京証券取引所 代表取締役社長

## Special Discussion

### 「ウイズ・コロナ / アフター・コロナ時代のESG投資とTCFD開示の意義」

#### Objective

脱炭素、循環型経済など持続可能な方法で、経済と社会を再生する動きが顕在化しつつある。「ポスト・コロナ時代」におけるESG投資とTCFD開示のあり方や重要性、今後の展望について発信する。また、脱炭素社会への移行に向けた機運を高めるべく、革新的環境イノベーションの意義やファイナンスの重要性を議論する。

#### Conclusion

- よりサステナブル、レジリエントな社会・経済モデルを構築していくにあたりESG投資の意義は一層高まっている。
- その中で、環境イノベーション投資を始めとする「グリーン・リカバリー」は重要性が高まっている。
- 革新的環境イノベーションに資金が供給されることが重要であり、TCFD開示はその触媒になる。

#### Panelists

##### ■ モデレーター :

- 水野 弘道 経済産業省参与、TCFDサミットアンバサダー

##### ■ パネリスト :

- Fiona Reynolds, CEO, PRI Association
- Marcie Frost, CEO, CalPERS
- 大関 洋 ニッセイアセットマネジメント 代表取締役社長
- Alan McLean, Executive Vice President, Tax and Controller, Royal Dutch Shell plc
- 青木 淳 資生堂 常務、チーフソーシャルバリュークリエイションオフィサー

## Panel Discussion 1 「業種別のマテリアリティを踏まえた評価の重要性」

### Objective

- セッションでは、特定業種(エネルギー・化学)を題材としつつ、業界固有の財務面でのマテリアリティを理解し、評価することの重要性を議論する。(「グリーン投資ガイダンス」および「TCFDガイダンス2.0」を参照)
- 企業がTCFDに準拠した開示を使用して気候関連のリスクと機会を経営戦略に統合し、効果的に管理する方法について議論する。
- 業種別マテリアリティをもとに、企業と投資家の間でより建設的な対話がどのように実現できるかを確認する。

### Conclusion

- 投資家側は、企業が属する業種固有の財務のマテリアリティを踏まえ、気候リスク・機会への対応やKPIを、長期的な視点で、適切に評価することが重要であり、一律の評価を下してはならない。
- 企業側は、将来の不確実性・ビジネスの結果に影響を与える可能性のある気候リスク・機会を経営レベルで議論・特定するメカニズムを構築することが重要であること。
- 企業と投資家の間で、各種ガイダンスの実践への落とし込みにあたっては一定の困難性が存在することを認識しつつも、業種別のマテリアリティを勘案した上で、より建設的な対話を実現すること。

### Panelists

- モデレーター:
  - 長村 政明 東京海上日動 フェロー 経営企画部 専門部長 国際機関対応
- パネリスト:
  - David Parham, Director of Research, SASB
  - 押田 俊輔 マニユライフ・インベストメント・マネジメント クレジット調査部長
  - Fiona Wild, Vice President Sustainability and Climate Change, BHP
  - 山内 利博 住友化学 コーポレートコミュニケーション部長



## Panel Discussion 2 「シナリオ分析の実践と事例紹介」

### Objective

- シナリオ分析上の手法論に終始せず、経営戦略に統合して実行されることの意義について議論する。
- 経営戦略への統合プロセスも含め、シナリオ分析を実施する際の実際的な課題や解決策、複雑さや不確実性を管理するための効果的な手法について、得られた知見を共有する。
- シナリオ分析の効果的な開示の在り方について、議論する。

### Conclusion

- シナリオ分析の実践にあたり、企業が持つ知見や、課題への効果的な対応策の整理・共有を行い、実践に向けた努力を行っていくことの重要性。
- シナリオ分析の実践が、ビジネスチャンスにつながることを認識すること。
- シナリオ分析を行うこと自体が目標ではなく、分析結果を経営戦略に組み込み、実践していかなければならない。そのためには、経営分析・戦略検討が出来るガバナンス体制、PDCAサイクルの構築・実践が必要であること。

### Panelists

- モデレーター：
  - 手塚 宏之 JFEスチール 専門主監（地球環境）
- パネリスト：
  - Didem Nisanci, Global Head of Public Policy, Bloomberg / TCFD Secretariat
  - 岩永 泰典 Chief Responsible Investment Officer, Amundi
  - 渋谷 敦 みずほフィナンシャルグループ リスク統括部 リスクガバナンス室長
  - Francesca Gostinelli, Head of Group Strategy, Economics and Scenario Planning, ENEL
  - 溝内 良輔 キリンホールディングス 常務執行役員



## Panel Discussion 3

### 「トランジション・革新的環境イノベーションへの資金供給の促進とTCFD開示の活用」

#### Objective

- 環境イノベーションファイナンス研究会の成果を発信するとともに、関連する議論を行う。

#### Conclusion

- TCFD開示にあたっては企業の創意工夫を活かした柔軟な開示が確保されることが望ましい。
- トランジション・革新的環境イノベーションへの資金供給を促進する上で、TCFD開示は有効な枠組。
- 資金供給者側からのESG投資への言及を含む積極的な情報発信はTCFD開示を促し、投資家と企業間の環境取組に好循環をもたらす。

#### Keynote

- テーマ：クライメート・イノベーション・ファイナンス戦略2020
- スピーカー： 山下 隆一 経済産業省 産業技術環境局長

#### Panelists

- モデレーター：
  - 伊藤 邦雄 TCFDコンソーシアム会長、一橋大学CFO教育研究センター長
- パネリスト：
  - 塩村 賢史 年金積立金管理運用独立行政法人（GPIF） 投資戦略部 次長
  - 高月 擁 アクサ・インベストメント・マネージャーズ 調査部 ESG調査・エンゲージメント統括責任者
  - 藤村 武宏 三菱商事 サステナビリティ・CSR部長
  - 池田 賢志 金融庁 総合政策局 チーフサステナブルファイナンスオフィサー
  - 梶川 文博 経産省 産業技術環境局 環境経済室長

# Tokyo "Beyond-Zero" Weekの趣旨

## コンセプト

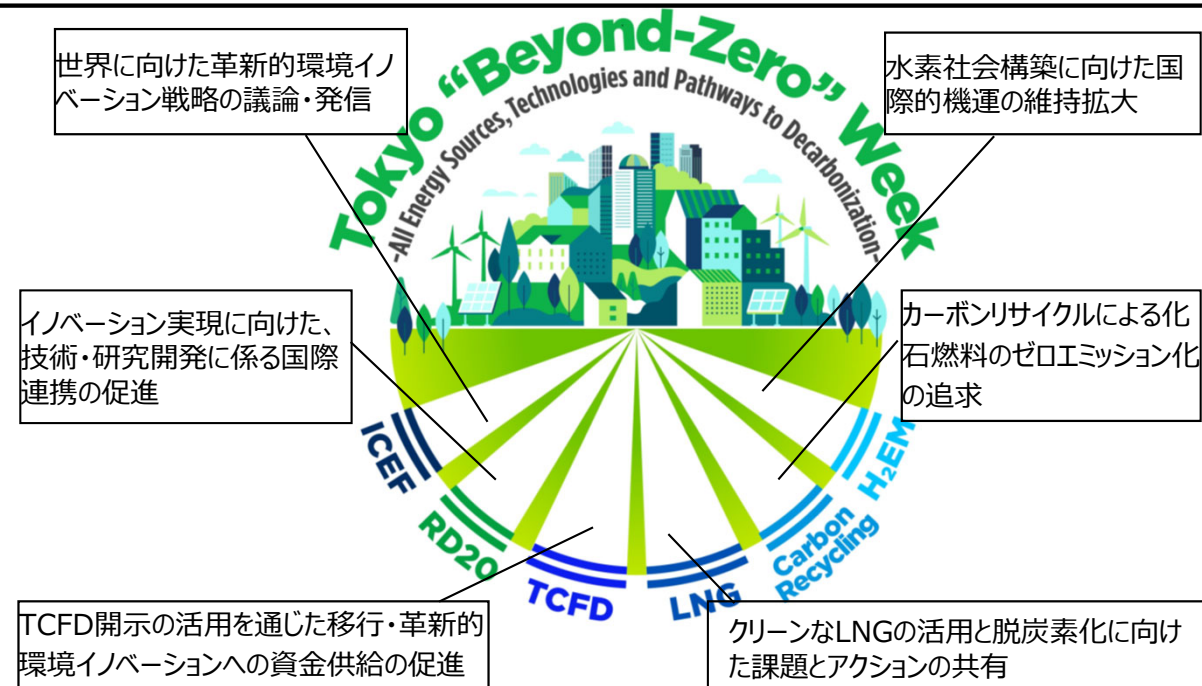
- 世界全体のカーボンニュートラル、更には過去のストックベースでのCO2削減（「ビヨンド・ゼロ」）を可能とする革新的技術の確立と社会実装を目指す「革新的環境イノベーション」の実現を通じて、新たな産業競争力の向上を実現し、「環境と成長の好循環」を目指す。
- このため、個別の挑戦課題とこれらを社会実現する道筋・手法について提示するため、**今回初めて、Tokyo "Beyond-Zero" Week**として関連の国際会議を連続的に開催する。
- 経済産業大臣のリーダシップの下、米国、豪州、サウジアラビア、カタール等各政府閣僚級、IEAビロル事務局長等国際機関、各国研究機関、イノベーションリーダー、産業界が参画し、幅広い議論を行い、「環境と成長の好循環」の具体的道筋・絵姿を世界共有の価値として提示しつつ、日本から世界へのイノベーションの発信、世界から日本へのインプットという相互作用を不断に発展させていく場とする。

### ● 個別の挑戦課題

- ① 水素社会の構築
- ② カーボンサイクルによる化石燃料の脱炭素化
- ③ LNGのよりクリーンな活用

### ● 社会実現するための道筋・手法

- ④ 研究開発の加速化
- ⑤ 世界最先端の叡智の結集
- ⑥ 気候変動問題への積極的な取組を支える  
ファイナンスの動員



# Tokyo “Beyond-Zero” Weekが目指すもの

## 社会実現するための道筋・手法

### ICEF2020

目的：「革新的環境イノベーション戦略」の技術開発テーマに沿った日本の戦略を発信し、ビヨンドゼロの実現に向けた中長期的取組を世界規模で推進するための機運を醸成

参加者：田中元IEA事務局長、サンダロー元米国DOE次官、ベンソン・スタンフォード大学教授 他

### RD20

目的：技術セッションでは水素、CCUS等の重要分野にフォーカスした議論を行うとともに、国際共同研究の創出に向けた環境を整備するためG20の研究機関が共同で「リーダーズ・サマリー」の発出を目指す。

参加者：吉野GZRセンター長、プティ仏国立科学研究センター所長他、新興国も含むG20の研究機関トップ

### TCFDサミット2020

目的：イノベーション実現・移行を支える資金の動員実現に向けTCFDサミット総括を発信。また、日本で環境イノベーションに挑戦する「ゼロエミ・チャレンジ企業リスト」の発表を通じ、資金誘導を促進

参加者：カーニー特使、フィンク BlackRock CEO、水野TCFDサミットアンバサダー 他

## 個別の挑戦課題

### 水素閣僚会議

目的：コロナ危機を受けた水素社会構築に向けた国際的機運の維持拡大のメッセージを閣僚レベルで共有・発信し、各国等の取組の進捗をまとめた“GAA（グローバル・アクション・アジェンダ） progress report”を発出。

参加者：ビロルIEA事務局長、サウジアラビア、米国、欧州委員会、豪州、ノルウェー、NZ、ドイツ、オランダ、フランス、Hydrogen Council等の閣僚級等（調整中）

### カーボンリサイクル産学官国際会議2020

目的：化石燃料のゼロエミッション化を実現すべく、CO2を資源として活用するカーボンリサイクルを推進。本会議においてカーボンリサイクルの現状と可能性について関係者間で認識を共有

参加者：ビロルIEA事務局長、サウジアラビア・米国・豪州、ERIA等の閣僚級等（調整中）

### 第9回LNG産消会議

目的：LNGバリューチェーンの中における脱炭素化に向けた課題と官民の役割について議論を深め、移行に係るLNGの役割について関係者間で認識を共有

参加者：ビロルIEA事務局長、カタール、米国等の閣僚級等（調整中）

# Tokyo "Beyond-Zero" Week 日程等

日	月	火	水	木	金	土
9/27	28	29	30	10/1	2	3
	ICEF分科会@WEB			RD20技術セッション@WEB		
4	5	6	7	8	9	10
			ICEF本会議 @WEB (ホテルニューオータニ)		RD20 リーダーズセッション @WEB (ホテルニューオータニ)	
					TCFDサミット @WEB (日比谷三井 コンフェレンス)	
11	12	13	14	15	16	17
	LNG産消会議 @WEB	CR産学官会議 @WEB	水素閣僚会議 @WEB			

**Tokyo "Beyond-Zero" Week**